

平成24年度第3回「市長とランチでトーク」

- 開催日 平成24年12月21日（金） 12:00～13:00
- 内容 市役所3階第2応接室にて市長と懇談
- 出席者 〈参加者〉 うつのみやしシティガイド協会 7名
〈市側〉 市長

● 主な内容（抜粋）

〈郷土資料館について〉

参加者 : 宇都宮市には、郷土資料館が無いので、待ち合わせをしながらちょっと入れる場所が中心市街地にあるとよいと思います。

市長 : 中心市街地に資料館を建てて、現在城址公園内の展示室に展示しているような資料を展示できればよいということですね。

参加者 : 宇都宮のさまざまな魅力を見せる資料館がないので、ぜひ造ってほしいです。大谷石造りで造ってもいいと思います。

参加者 : 現在、観光ボランティアの拠点が無いので拠点にもなると思います。

〈宇都宮の魅力について〉

市長 : 皆さんは宇都宮のことをよくご存知だと思うのでお伺いしますが、宇都宮の魅力とは何でしょうか？

参加者 : 宇都宮市民全体的に言えることだと思いますが、のんびりしていることです。

参加者 : 私は住みやすいことだと思います。

参加者 : 宇都宮育ちではない私から見た宇都宮の魅力は、安心安全なまちであるということだと思います。

参加者 : 東京にも近く、自然も豊かであるということだと思います。

市長 : 5年前、東京と大阪で定年を1年後に控えた人達へのアンケート調査を行いました。その中で、定年後に終の棲家を別の所に求める時の条件を聞いたところ、その回答は、「あまり田舎では困る」、「ほどほど田舎であるのがよい」、「自然があつてほどほど都会がよい」ということでした。そしてもう一つが、「車の運転が出来なくなっても移動が可能な所」ということでした。これからはそういう「まち」が選ばれるのだと思います。アンケートの回答で出た都市が長野と宇都宮と富山でした。

そして、教育に関しても宇都宮は良くなってきました。宇都宮市の各小・中学校に司書を配置しました。司書の先生に頑張ってもらい、様々な本を子どもたちに紹介することで、子どもたちに読む力がつき、本の貸出件数も増やすことができました。小学生は全国トップクラスになり、中学生も順位が上がってきました。読む力が育つと学力も伸びると思います。

《観光について》

- 市長 : 宇都宮はお寺が多いですね。他都市へ行くと、お寺で住職の話を書くことが観光ルートに入っているところがありますね。
- 参加者 : 宇都宮でも話してくれる住職さんは沢山います。
- 参加者 : 宇都宮は探せばもの凄く面白い都市です。住職さんに、私はこういう理由で住職様のお話を聞かせていただきたいと話すと皆さん喜んでお話をしてくれます。
- 参加者 : 神主さんも声をかけると話をしてくれます。
- 参加者 : 市民の方々にそれぞれの自慢話をしてもらうことが、宇都宮のPRとして一番良いと思います。
- 市長 : それも良いですね。二荒山神社前の景色は良くなったと思います。参道の両脇の広場はイベントなどで使えるようになりました。
- 参加者 : あそこを憩いの場所にしたいですね。
- 参加者 : まちなかに家族で来てもらうことが大切です。エスコートは我々がします。
- 市長 : エスコートをしていただく皆さんからの意見をお聞きして、観光に力を入れることの必要性を感じました。宇都宮にはいろいろ観光資源があるので、それをうまく使えば観光都市になれると思います。そのことはもう現場の皆さんが一番よくご存じだと思います。
- 参加者 : 宇都宮の楽しみ方は沢山あります。よろしくをお願いします。

